

## 「自治会ニュースコンクール2014」

### 講評

(2015/03/14 審査委員長)

本コンクールは2011年度に生駒郡、北葛城郡の2郡を対象に開催したのがスタートである。その後年々地域を広げ、今回、奈良県全域の市町村を対象とし、全県的なコンクールとして記念すべき一歩を踏み出した。

これは、毎日新聞社の尽力と奈良県の協力によるところが大きく、謝意を表したい。

応募があったのは、5市7町の29自治会・大字・自治連合会であった。

奈良県には、古くからの集落の面影を残しているところと、大阪のベッドタウンとして開発された住宅地やニュータウンが混在している。その住宅地も開発から長い年月が経ち、再開発、再々開発によって住民構成が様変わりしているところもある。自治会ニュースの形、内容も自ずと異なるものとなってくるだろうが、どの応募ニュースも、それぞれの地域の実情に合った紙面作りがなされているように感じた。

今回、特に印象を受けたのは以下通りである。

- ① 昨年度、あるいは今年度からニュースの発行を始めた自治会があり、このコンクールに携わる者としてうれしいことであった。
- ② カレンダーや連絡事項を別立てでの配布あるいは回覧とし、紙面の中身の充実を図ろうとしているところが見られた。
- ③ 自治会でHP（ホームページ）を立ち上げ、ニュースと連動させた取り組みを図っているところが増えている。

住民の意識、マンパワー、費用などの点から、ニュース紙を発行していない自治会・大字も依然多いと思われるが、発行するところがさらに増えていくことを期待したい。また、自治会ニュースの性格やその意義を考える時、回覧しているところはできるだけ全戸配布を目指してほしい。

なお、『審査委員奨励賞』は総合評価に拘らず、紙面やニュースの作り方に特色があるものを、各審査委員が独自の視点から奨励の意味で選んだものである。

## 最優秀賞

### ◆ 「まみがおか」（香芝市／真美ヶ丘自治会）

構成、レイアウト、見出し、すべてにメッセージ性があり、その号のテーマが紙面の隅々まで行きわたっている。総合的に極めて高いクオリティを保っている。

若い世代も紙面に参加し、住民の投稿も充実。楽しさもあり、住民の顔や、その人となりさえ紙面から透けて見えるようだ。

紙媒体に対する一貫したコンセプトがうかがえる。ニュース紙として一つの到達点に近づきつつあるように思われる。

## 毎日新聞社賞

### ◆ 「共同広報誌『ふれあい』」（奈良市／東登美ヶ丘地区自治連合会・社会福祉協議会）

東登美ヶ丘地区自治連合会・社会福祉協議会が発行。ページ数の割りには記事が充実し、硬派的な記事と、楽しくて親しみやすい記事をうまく融合させている。カラー写真の配置と巧みなレイアウトで、読んでみようという気を起こさせる。

いわゆる“奈良府民”の多い住宅地での自治会活動の難しさを克服しようという意欲が、しっかりと形になって表れている。

## 優秀賞

### ◆ 「星和台ニュース」（河合町／星和台自治会）

カラフルで余白も生かされ、高齢者にも優しい紙面。自治会活動の経過報告、会計報告も、バラエティ豊かなニュースや話題に包み込まれ、無機臭を感じさせない。カラー写真を鮮明にすれば、より紙面が映えるだろう。

ゴミ出しの具体的な違反状況を一覧表にして載せているのが特徴的。自治会としての強い取り組みがうかがえる。

### ◆ 「高塚台ニュース」（河合町／高塚台自治会）

トップページに、視覚に訴える力強さがある。連絡事項を別立ての回覧にしているせいか、行事や話題ものなど楽しい記事が多い。

見出しや読みやすさに難はあるものの、情報感度に優れ、地域の小さな情報を幅広い観点から集めていることをうかがわせる。

不用品の無料提供を橋渡しするコーナーは興味深い。

## 審査委員会特別賞

### ◆ 「泉台ニュース」（河合町／泉台自治会）

地に足のついたキメ細かいニュースづくりが印象的。トップページに掲示板的な機能を持たせたり、「ごみ収集日などのお知らせ」を取り出せるようにしてしたり、編集の至る所に細かい配慮と工夫が見られる。

自治会の発足以来45年間、毎月発行し続けていていることに敬意を表したい。

### ◆ 「高塚台二丁目ニュース」（河合町／高塚台二丁目自治会）

豊富な記事が、活発な自治会活動、地域活動を良く伝えている。日頃の防災・安全への強い取り組みもうかがえる。民生・児童委員、地域安全推進委員、包括支援センター職員を、顔写真付きで紹介しているのがユニーク。

レイアウト等、編集に今一歩の工夫を望みたい。

### ◆ 「石見だより」（三宅町／石見自治会）

奇をてらわず、落ち着いた作り。それが紙面に安定感を与え、信頼性を高めている。編集すべてにセンスの良さが光る。カラー、カットの使い方とも良く、記事はコンパクト。すべてに署名が入り、住民たちの得意分野を集結させて丁寧に作られていることが分かる。

◆ 「久美ヶ丘かわらばん」（河合町／久美ヶ丘自治会）

モノクロだが、写真が豊富で文字も大きく、ビジュアルで読みやすい紙面。デザインもよく考えられている。

「ひと～久美ヶ丘人物鑑～」が出色。人にスポットを当て、取材した上で紹介するコンセプトが良い。写真や本人のコメントもあり、丁寧に掘り下げられている。

◆ 「あすか野新聞」（生駒市／あすか野自治会）

一般的な新聞スタイル。自治会活動や地域の動きを丁寧に取り上げている。

バス運行を継続させるための呼びかけ、ゴミの有料化、コープ移動店舗の案内など、日常生活に密着するニュースを、うまく目立たせているところも評価できる。

レイアウトにもう一工夫欲しいところ。

◆ 「斑鳩めやす」（斑鳩町／目安自治会）

カラーが綺麗。ページごとの性格づけがはつきりしており、メリハリがある。編集にも工夫がなされ、読みやすい。

4ページだが、歴史のある土地柄に合った構成と内容であり、編集者が楽しみながら紙面を作っていることがうかがえる。

◆ 「三室自治会だより」（三郷町／三室自治会）

カラーで見やすく、読みやすい。写真の撮り方、レイアウトに、自治会活動への関心を高めようという意欲が表れている。

カレンダーを別立て（全戸配布）にしたのはアイデアだが、本体は回覧。「よくある質問」など、日常役立つ情報が多いだけに、手元に置いておきたいところだ。

## 審査委員奨励賞

### ★メディアミックス賞「自治会報美しヶ丘」(王寺町／美しヶ丘自治会)

H P (ホームページ) を運営している自治会は他にもあるが、H Pの記事を紙面で活用したり、紙面でH Pの活用を呼びかけたり、H Pとの融合が際立っている。

自治会報のほか、自主防災会など三つのニュースも発行しており、広報活動への力の入れようがうかがえる。

### ★踏ん切ったで賞「錦ヶ丘自治会だより」(斑鳩町／錦ヶ丘自治会)

毎月「定例役員会要旨報告」を全戸に配布していたが、今年度初めて「自治会だより」の発行に踏み切り、広報活動の幅を一気に広げた。その意欲に拍手を送りたい。

カラーの号とモノクロの号があるが、カラーの方が圧倒的に良い。

### ★ほのぼの賞「広報しらにわ台」(生駒市／白庭台自治会)

カラフルで、イラストの使い方も良い。催しの結果報告や注意喚起など、地域の情報を端的に伝えている。親しみやすい紙面で、ほのぼのの感を醸し出している。

回覧だが、全戸配布にできたら、と思う。

### ★頑張っているで賞「役員会からのお知らせ」(生駒市／北新町自治会)

長い歴史を持つ自治会だが、ニュース紙の発行は昨年度から。月2回も発行しているのに驚かされる。その結果、自治会行事への参加者が増えたという。

全戸配布だったら、さらに効果が上がるのではないだろうか。

### ★コラム賞「旭ヶ丘だより」(大和郡山市／旭ヶ丘自治会)

お知らせと報告、行事予定の2ページものだが、編集後記が読ませる。

時事と自治会員の身の回りにかかる事柄を取り上げて、肩肘を張らず分かりやすく語りかけており、説得力がある。

以上